

ひたる。光に。モネに。

Le dernier Monet Paysages d'eau

モネ

睡蓮のとき

2024 10.5 (土) → 2025 2.11 (火・祝)

会期中
金・土曜日は
21:00まで

 国立西洋美術館 [東京・上野公園]
The National Museum of Western Art

大画面作品が集う、風景の中へ。

開館時間 | 9:30-17:30(金・土曜日は21:00まで) ※入館は閉館の30分前まで
休館日 | 月曜日、10月15日[火]、11月5日[火]、12月28日[土] - 2025年1月1日[水・祝]、
1月14日[火](ただし、10月14日[月・祝]、11月4日[月・休]、2025年1月13日[月・祝]、
2月10日[月]、2月11日[火・祝]は開館)

主催 | 国立西洋美術館、マルモッタン・モネ美術館、日本テレビ放送網、読売新聞社、BS日テレ
後援 | 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランス
特別協賛 | 大成建設
協賛 | 第一生命グループ、光村印刷、SOMPOホールディングス
協力 | 日本貨物航空、NX 日本通運、TOKYO MX、TOKYO FM、ニッポン放送、西洋美術振興財団
企画協力 | NTVヨーロッパ

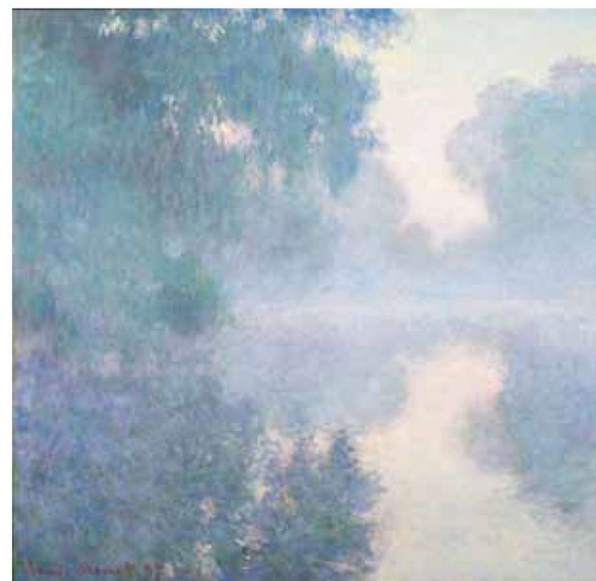
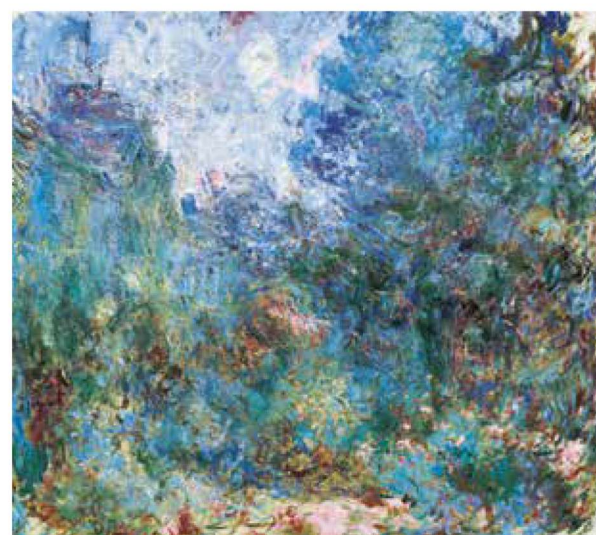
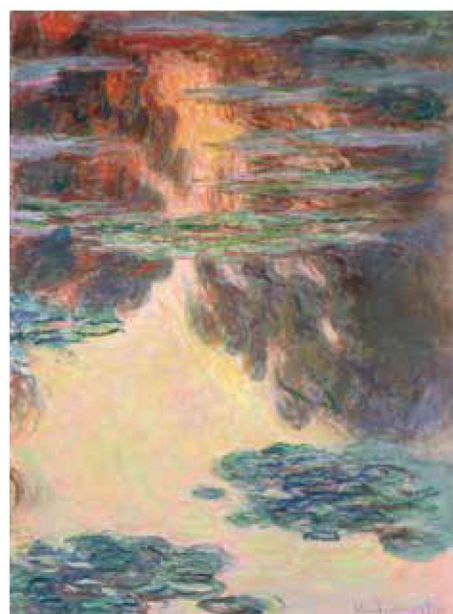
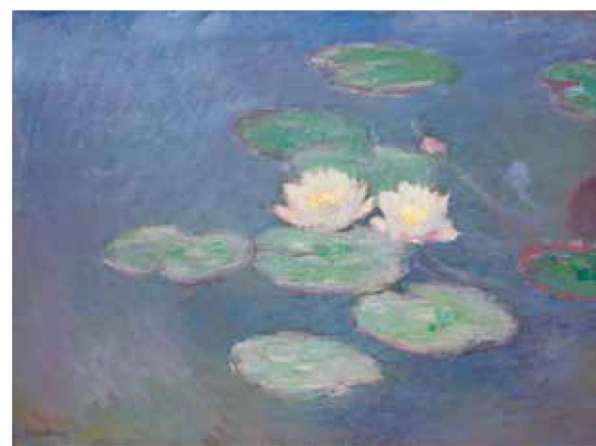
クロード・モネ(睡蓮)(部分) 1916-1919年頃 油彩/カンヴァス マルモッタン・モネ美術館、パリ © musée Marmottan Monet



本展は、政府による
美術品補償制度の
適用を受けています。

Clair's World

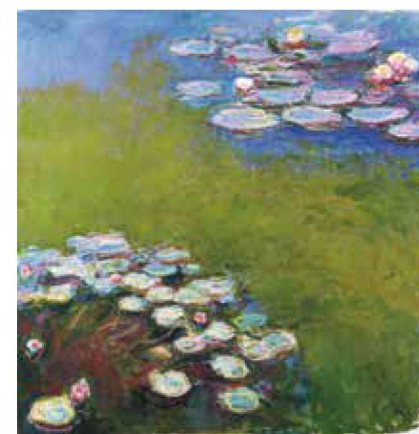
〈睡蓮〉20点以上が集結、晩年の制作に焦点をあてた究極のモネ展。



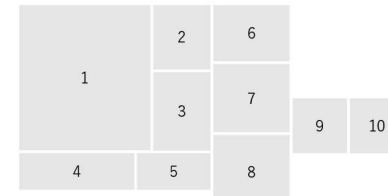
印象派を代表する画家のひとりであるクロード・モネ(1840-1926)は、一瞬の光をとらえる鋭敏な眼によって、自然の移ろいを画布にとどめました。しかし後年になるにつれ、その芸術はより抽象的かつ内的なイメージへと変容してゆきます。

モネの晩年は、最愛の家族の死や自身の眼の病、第一次世界大戦といった多くの困難に直面した時代でもありました。そのような中で彼の最たる創造の源となったのが、ジヴェルニーの自邸の庭に造られた睡蓮の池に、周囲の木々や空、光が一体となって映し出されるその水面でした。そして、この主題を描いた巨大なカンヴァスによって部屋の壁面を覆いつくす「大装飾画」の構想が、最期のときにいたるまでモネの心を占めることになります。本展の中心となるのは、この試行錯誤の過程で生み出された、大画面の〈睡蓮〉の数々です。

このたび、パリのマルモッタン・モネ美術館より、日本初公開となる重要作を多数含むおよそ50点が来日。さらに日本各地に所蔵される作品も加え、モネ晩年の芸術の極致を紹介します。日本では過去最大規模の〈睡蓮〉が集う貴重な機会となります。



1. 《枝垂れ柳と睡蓮の池》1916-1919年頃 油彩/カンヴァス
マルモッタン・モネ美術館、パリ © musée Marmottan Monet
2. 《睡蓮》1916-1919年頃 油彩/カンヴァス
マルモッタン・モネ美術館、パリ
© musée Marmottan Monet / Studio Christian Baraja SLB
3. 《睡蓮》1907年 油彩/カンヴァス
マルモッタン・モネ美術館、パリ © musée Marmottan Monet
4. 《藤》1919-1920年頃 油彩/カンヴァス
マルモッタン・モネ美術館、パリ © musée Marmottan Monet
5. 《日本の橋》1918年 油彩/カンヴァス
マルモッタン・モネ美術館、パリ © musée Marmottan Monet
6. 《睡蓮、夕暮れの効果》1897年 油彩/カンヴァス
マルモッタン・モネ美術館、パリ
© musée Marmottan Monet / Studio Christian Baraja SLB
7. 《ばらの庭から見た家》1922-1924年頃 油彩/カンヴァス
マルモッタン・モネ美術館、パリ © musée Marmottan Monet
8. 《ジヴェルニー近くのセーヌ河支流、日の出》1897年
油彩/カンヴァス マルモッタン・モネ美術館、パリ
(エフリュシ・ド・ロチルド邸、サン＝ジャン＝キャップ＝フェラより寄託)
© musée Marmottan Monet / Studio Christian Baraja SLB
9. 《睡蓮》1914-1917年頃 油彩/カンヴァス
マルモッタン・モネ美術館、パリ © musée Marmottan Monet
10. 《睡蓮、柳の反映》1916-1919年頃 油彩/カンヴァス
マルモッタン・モネ美術館、パリ © musée Marmottan Monet



〈チケット情報〉

観覧料(税込)	一般	大学生	高校生
当日券	2,300円	1,400円	1,000円
前売券	2,100円	1,300円	900円

*中学生以下、心身に障害のある方及び付添者1名は無料。入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください。
*国立美術館キャンパスメンバーズ加盟校の学生・教職員は本展を学生1,200円、教職員2,100円でご覧いただけます。学生証または教職員証をご提示のうえ、当館券売窓口にてお求めください。
*12月12日(木)～27日(金)、2025年1月2日(木)～17日(金)は高校生無料観覧日。入館の際に学生証をご提示ください。
*観覧当日に限り本展の観覧券で常設展もご覧いただけます。
*前売券は6月12日(木)～10月4日(金)までの販売

販売場所：国立西洋美術館(開館日のみ)、「モネ 睡蓮のとき」オンラインチケット(e-tix)、日テレゼロチケ、ローソンチケット、アンビュー、セブンチケット、ぴあ、イープラス

*詳細は本展公式サイトをご確認ください。

〈関連講演会〉

10月5日(土)15:00-16:30
「マルモッタン・モネ美術館の美しき物語 1934-2024」
エリック・デマジエール(マルモッタン・モネ美術館館長)

11月16日(土)15:00-16:30
「モネと日本 相愛の物語」
馬淵明子(前国立西洋美術館館長/日本女子大学名誉教授)

2025年1月18日(土)15:00-16:30
「モネの庭」
山根あおい(国立西洋美術館研究員/本展担当)

〈スライドトーク〉

※当日受付 ※各回完結
解説:本展アシスタント
①11月1日(金)18:00-18:40 ②12月6日(金)18:00-18:40
③12月19日(木)11:00-11:40 ④2025年1月9日(木)11:00-11:40

*詳細・参加方法は国立西洋美術館公式サイトにてご案内いたします。

〈展覧会アンバサダー〉



アンバサダー：石田ゆり子

アンバサダーとして本展の魅力を伝えるとともに、アーティスト Lily として、大橋トリオの作曲によるテーマソングを歌います。音声ガイドも担当。聴いて、モネにひたってください。

展覧会テーマソング「私のモネ」
歌・作詞 | Lily
楽曲プロデュース | 大橋トリオ



大橋トリオ

© Lia-kozai

展覧会公式サイト
<https://www.ntv.co.jp/monet2024/>



X @monet2024_jp Instagram monet2024_jp

お問い合わせ 050-5541-8600(ハローダイヤル)

国立西洋美術館 [東京・上野公園]

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
<https://www.nmwa.go.jp/>

交通案内

- JR上野駅下車(公園口)徒歩1分
- 京成電鉄京成上野駅下車 徒歩7分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅下車 徒歩8分

※当館に駐車場はございませんので、お車のご来館はご遠慮ください。

